

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

ホットNEWS

「世界一の環境先進大学」を目指して… スマートキャンパスの秘密にせまる!!

特集

おもしろ研究・先生X

03

速報

文部科学省等支援プログラム

09

プロジェクト

環境ストレスによる心血管系障害に対する予防システムの確立

11

新設・リニューアルオープン

13

気になるNEWS

15

スポット/クラブ・サークル

17

本の紹介

19

表彰

20

お知らせ

22

歴史街道シリーズ

26



vol. 30 2013
SUMMER

「世界一の環境先進大学」を目指して...スマートキャンパスの秘密にせまる!!

「世界一の環境先進大学」を目指して...スマートキャンパスの秘密にせまる!!

ホット NEWS

「世界一の環境先進大学」を目指して...スマートキャンパスの秘密にせまる!!

たゆまぬ努力が実を結びました!

H20 容器包装3R促進環境大臣賞

H22 エコ大学ランキング1位

H24 第1回みえ環境大賞環境活動部門

H25 第22回地球環境大賞 文部科学大臣賞

風力発電 (300kW)



*これぞ Seaside Campus の強み! 風を活かしたエネルギー設備だ。

スマートメーター



*キャンパス内の電気使用量をバッチリCheckする頼もしいメーター!

照明LED設備



*太陽光発電で得た電力を活用!

蓄電池 (432kWh)



*効率良く電力を供給できるんだ。

空調設備 (クールビズ/ウォームビズ対応)



*電力のピーク時には自動で空調条件を変更する画期的な設備だよ!

まもる'sアイ

★注目設備★

ガスコージェネレーション設備 (2,000kW)



*なんと!排熱を空調のエネルギーに転換する、夢のシステム!

エネルギー管理システム (EMS)



*明日の天気を予測して最も効率の良い電力の使い方を教えてくれるんだ!

太陽光発電 (60kW)



*カーポートの屋根にソーラーパネル発見!電力はLEDに活用されているよ。

吸収式冷凍機



*排熱を使って冷房ができる画期的なシステムだよ。



環境ISOキャラクター「まもる」

「スマートキャンパス」ってなあに??

ズバリ「再生可能なエネルギーを有効活用して、CO2削減を可能にした環境に配慮したキャンパス」のことだよ。大学全体で丸となって取り組んでいるのは三重大が初めてなんだ。平成22年比でCO2を約24%も削減するという高い目標を達成するために、三重大ならではの取り組みをたくさん行っているんだ。設備だけではなく、環境教育も充実していて、ハードとソフトの両面から「世界一の環境先進大学」を目指しているんだよ。

★三重大ブランドの「環境人財」を育む秘密!★

1 ESDプログラム
持続発展教育プログラム (Education for Sustainable Development Program)

地域や世界で活躍する「環境人財」を育み、持続可能な社会の実現を目指す教育プログラム。一定のカリキュラムを終えると学長から修了証が授与されます。

2 MIEUポイント
環境活動ポイントシステム

環境改善活動への努力を「見える化」し、モチベーションアップを支援する独自のシステム。活動を携帯端末で申告するとポイントが付与。学業に役立つ商品等に交換できます。

3 3R活動
Reduce Reuse Recycle

オリジナルエコバッグにより、生協でのレジ袋有料化・日本初のレジ袋を置かない学内コンビニを実現。放置自転車を修理して、新入生や留学生へ譲渡。古紙を再利用したトイレットペーパーは学内使用率20%を占めます。

2012年度に268名の学生が認定を受けました



環境ISO学生委員会 館 明宏くん

2014年11月には、国立総合大学唯一のユネスコスクール登録校として「ESDに関するユネスコ世界会議」に参加します!



環境ISO学生委員会 向坂 悠希さん

学生たちが社会に羽ばたいていったあとも、育まれた高い環境意識はずっと受け継がれていきます。



理事(企画・評価・環境)・副学長 朴 恵淑 Park, Hye-Sook



くわしくはコチラをご覧ください! 『環境報告書2012』

特集 おもしろ研究・先生

X 哲学は「驚きの学問」である！



三重大学文学部・准教授 田中 綾乃 Tanaka, Ayano

前列中央が田中准教授

哲学の意味

哲学 = philosophy

philo sophy
愛する 知

知を愛する (知を深く探求する)



哲学ってどういう学問?

みなさんは「哲学」と聞くと、どのような印象を抱かれるでしょうか? 「テツガク?! 難しいぞう!!」と感じる方も多いと思います。しかし、おそらくそれは「哲学」という漢字がもたらすイメージによるものですね。そもそも哲学という言葉は、明治時代に philosophy から翻訳された造語であり、「知を深く探求する」という意味です。具体的には、普段、私たちが当たり前だと思っていることをもう一度捉え直すことです。当たり前を少しだけ疑ってみることで、私たちの「ものの見方」や「世界の捉え方」が広がるのです。

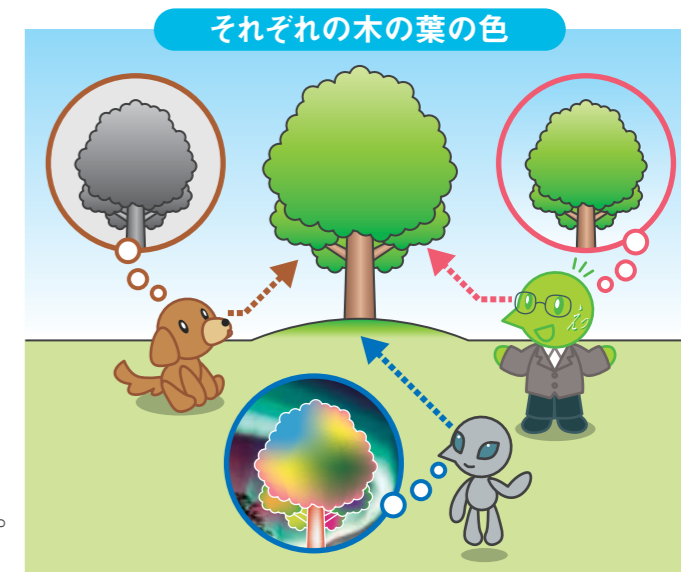
当たり前を疑う



私たちが「見る」から世界は「在る」

それでは、実際に考えてみましょう。新緑の季節、木の葉は美しい緑色ですが、私たちにとって緑色に見えるのは、果たして木の葉そのものが緑だからでしょうか? 例えば、知覚できる色が人間より少ない生き物には、木の葉は白黒などに見えます。逆に、私たちが色として知覚できるのは、可視光線の範囲内のみです。

ここから葉が緑色であることは当たり前だ、という常識が覆されるのではないのでしょうか。そして、世界はあるがままに「在る」のではなく、私たちが「見ている」から世界は「在る」のだ、と考え直してみることもできます。これは哲学の領域では、「認識論」と呼ばれる分野で、私が専門にしているカント哲学の根本的な思想です。



イマヌエル・カント (1724年-1804年)

18世紀のドイツの哲学者

人間とは何か?

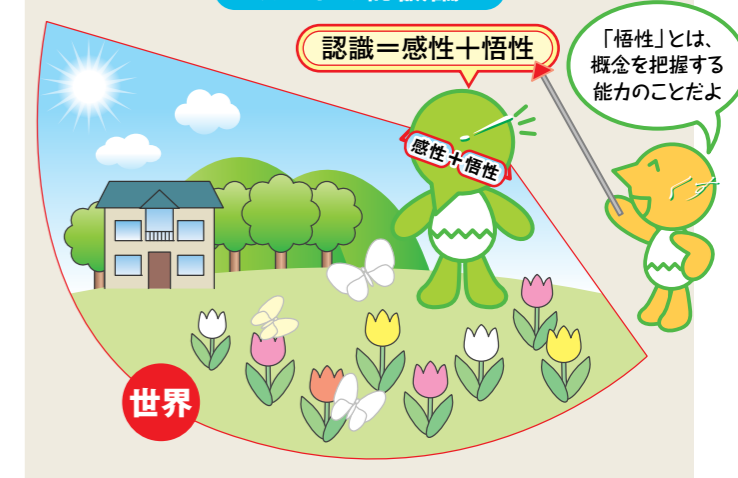
カントは「私は何を知ることができるのか?」、「私は何をなすべきか?」、「私は何を望むことが許されるのか?」という3つの問いを立て、これらはすべて「人間とは何か?」という問いに集約されると述べています。西洋の近代哲学とは、まさにこの「人間とは何か?」を追求していくことで現代に繋がる思索を生み出してきました。私自身はカントの「認識論」や「美学」を通して、人間の認識能力の一つである「直観」と芸術作品との関係について研究を行いながら、人間存在の深みを探求しています。

世界を鮮やかに

哲学をするには、何も難しいことは必要ありません。「そもそも」と自らの頭で考え直してみる柔軟な発想力と、世界に対しての新鮮な「驚き」があれば十分です。驚くことができるのは、新たな見方や豊かさの発見ゆえです。常識に凝り固まるのではなく、私とは何か? 真とは何か? 善とは何か? 美とは何か? 世界とは何か? 人間とは何か? ...ということを根本的に考え直してみることで、目前にある世界が以前にも増して鮮やかで豊かなものとなるはずですよ。

先人の哲学者たちが生み出した様々な思想に触れながら、自らの考えを深めていく哲学は、実に奥深く魅力的な学問です。ぜひ哲学ワールドを体験してください。

カントの認識論



特集
おもしろ
研究・先生
X

新物質を大発見！
〜もう難病も怖くない?!〜



三重大学大学院医学系研究科・教授
成田 正明 (Narita, Masaaki)
(URL) http://www.medic.mie-u.ac.jp/develop_regener/

試薬の調整を行う成田教授

命名! 「マンセリン」!

私たちはストレスの指標となる新しい種類の神経ペプチドを発見し、「マンセリン」と名付けました。発見当初は慢性疲労症候群の発症との関連に着目していたので、「慢性疲労」をもじって「マンセリン」としました。星の名前と同じで見つけた人が名付けていいんですよ。ペプチドとはアミノ酸が連なってできている短いタンパク質のことをいいますが、そのうち神経ペプチドは脳からの指令を伝達するだけでなく、呼吸・血圧などの調整、こころのホルモンを分泌するなど、生命の維持に欠かせない機能も持っています。新たな神経ペプチドの発見は難病の解明や治療薬の開発にもつながるため、生命科学分野の研究者たちは新発見を目指し日々研究に取り組んでいます。

マンセリンの顕微鏡写真



新発見へのみちのり

ところが神経ペプチドは脳内には微量しか存在しないため、そう簡単には見つからず、これまでも約100種類が発見されたに過ぎません。今回私たちが発見した新しい神経ペプチド「マンセリン」はラットの脳から抽出に成功したものです。新しい神経ペプチドを見つけるために、従来は動物の脳をまるごとたくさん集めて、脳の中のどこかの部分にある大事な生理作用、例えば血管収縮作用や細胞増殖作用などのような活性を持つ部分を探し求めて、脳のこの辺か?あの辺か?と試行錯誤しながらひたすら狭めていく作業が必要でした。それはまるで、広大な砂漠の中から一粒の光る砂金を探し出すような膨大な作業でした。ですが、私たちはペプチドの暗号に注目することで、アミノ酸の抽出に成功し、「マンセリン」発見につなげたのです。

ペプチドって何?



タンパク質は膨大な数のアミノ酸が結合して作られています。少数のアミノ酸が結合して作られた小さな分子をペプチドと呼びます。

ペプチド抽出作業のイメージ



マンセリンが変える未来

「マンセリン」は生体がストレスを感じた時にいっしょに働きます。つまり体の中のマンセリンの量を測定すればその人がどの程度ストレスを感じているかわかるはずですよ。また「マンセリン」は体の中で活発に再生を繰り返している場所に多く存在します。その特性を手がかりに、私たちは「マンセリン」が前立腺癌の発生や進行の指標になることを明らかにしました。もしかすると、病院の検査項目への追加や患者さんから「マンセリンを測ってほしい」という要望が来る日も近いかもしれません。さらに、将来「マンセリン」の働きをコントロールする薬を創ることができたなら、癌の進行を食い止められる可能性も秘めているんですよ。実は私、これでノーベル賞狙ってます! ガチで。

特集
おもしろ
研究・先生

X 地球とともに生きる

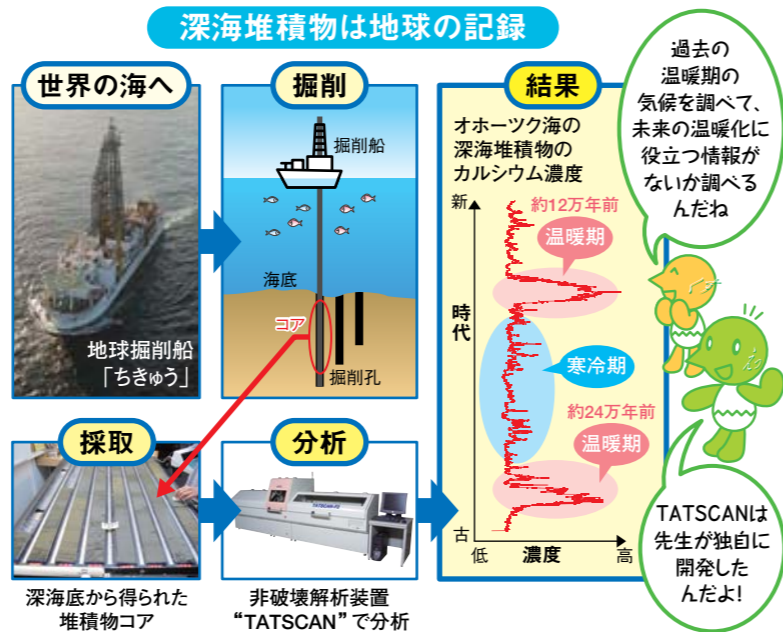


三重大学大学院生物資源学研究所・教授
坂本 竜彦 Sakamoto, Tatsuhiko
[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/kankyo/shizen/lab6/index.html>

「光の街(三交不動産)」のソーラーパネルの前にて

ひと粒の砂に「これまで」の地球システムの進化を見る

「地球のことが知りたい」高校生の時に見た映画をきっかけに、地球科学を学ぼうと北海道大学に入学、大自然の中で地質学を学びました。ひと粒の砂やひと握りの海底の泥に「悠久の地球の歴史」や「宇宙の記録」が秘められていることに気付き、以前勤務していた北海道大学や海洋研究開発機構では、巨大な掘削船で太平洋、地中海、北極海、ベーリング海といった世界の海の深海堆積物を採取し、地球システムの進化を研究してきました。過去の地球の研究は、地球の未来予測のアーカイブデータとなるのです。



限界をむかえつつある、「いま」の地球システム

過去の地球システムを学ぶことで、「いま」の地球は何十億年という長い年月をかけて生命とともに進化したハビタブルプラネット*ということが分かります。しかし、現在は地球を脅かす人類的課題が山積みです。特に、エネルギー問題は深刻で、人類は貴重な化石燃料を産業革命から200年という短い時間で使い切ろうとしています。また、化石燃料の消費は地球温暖化を招き、大気中の二酸化炭素量は人類が経験したことのない水準にまで達してきています。



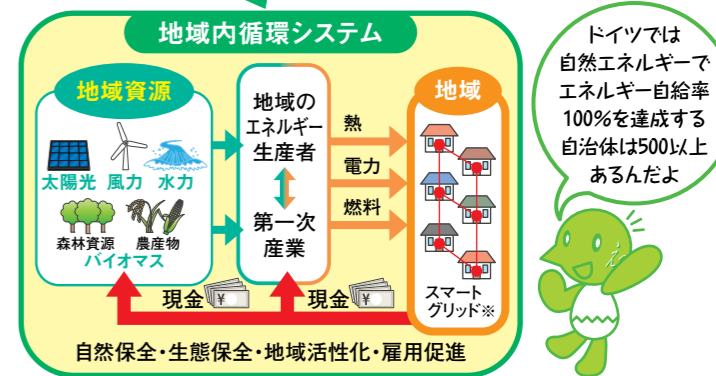
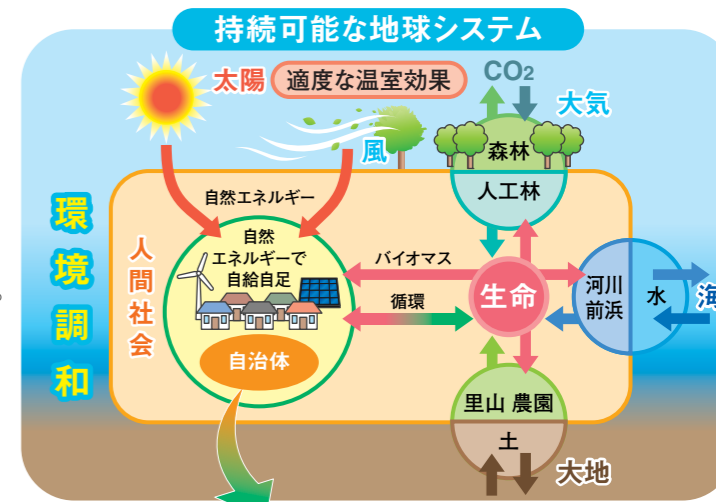
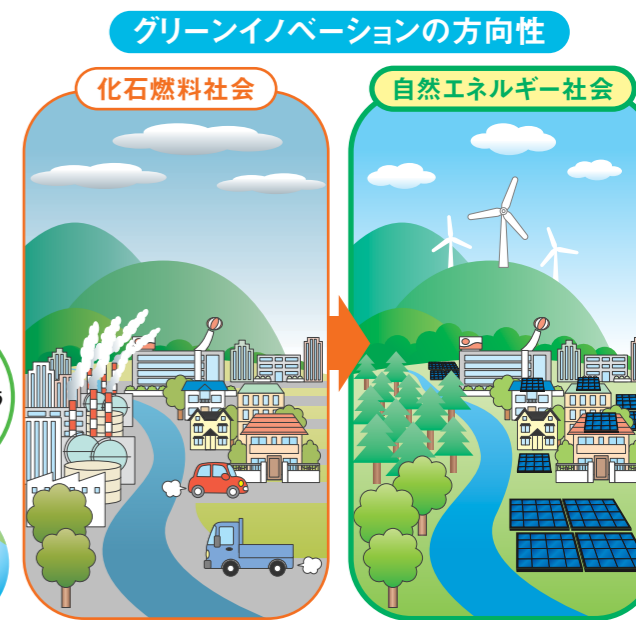
地球は、複雑な要素が相互に関連しながら、ひとつの生命体のように進化するシステムであり、私たちはその一部です。危機に面した地球を救うために私たちに求められていることは、化石燃料に依存したシステムから脱却し、自然と調和した「地球とともに生きる」持続可能な社会を目指していくことです。

*ハビタブルプラネット=生命が生存可能な惑星

「これから」の地球システムの具体的ビジョンを描く～“グリーンイノベーション”の必要性～

私の研究室では、「持続可能な地球システム」を実現するための「グリーンイノベーション」をテーマに研究しています。具体的には「自然エネルギー社会」への具体的なビジョンや方策です。欧米の環境先進国の成功例を学ぶと、単に自然エネルギー技術が普及するだけでは真のグリーンイノベーションは訪れていないことが分かります。ポイントは「地域内循環システム」を構築することです。地域にある自然エネルギー(太陽、風、森林、海、生命)によるエネルギー自給自足を達成し、第一次産業と結びつけて地域の経済が活性化する仕組みができているところに、これからの持続可能な社会の未来像があります。これを小さな自治体レベルから住民参加の中で作り上げていくことが大切です。

「地域」をキーワードに、循環、環境保全、生態系調和、自然共生などを達成する未来社会の実現のため、理学的な地球システム像の解明、工学的な技術の開発、人文・経済学的な社会研究、地域住民参加の仕組みづくりといった学際的な研究こそ、地域の拠点としての大学に求められています。



※スマートグリッド=IT技術を用い、効率的に電気を受給する電力網

平成25～27年度

高度な専門職業人の育成や専門教育機能の充実

「大災害時の救命力向上のために 救急医療臨床医学者を育成する 医師卒後教育拠点『災害救急医療・高度教育研究センター』の構築」

三重県の緊急課題である大災害時における救急医療体制の整備の柱として、三重大学内に「災害救急医療・高度教育研究センター」を構築し、専門的なトレーニングを行い臨床医学者として災害救急医療を指揮・総括・改善できる医師の育成を目的としています。

救急災害医学（今井 寛教授）と分子病態学（島岡 要教授）が中心となり三重大学医学部内に横断的な組織「災害救急医療・高度教育研究センター」を設置し、多臓器不全の病態解明のための基礎研究スキルを身に付ける医師卒後教育・トレーニングを提供します。

センターは臨床・基礎の2つのコア・ラボラトリー及びハーバード大学医学部との国際連携プログラム、危機管理対策や災害時の住民個人認証に関する社会連携プログラムの合計4つのトレーニングユニットで構成されます。

救急集中治療の初期トレーニングを終えた医師が3年の期間中、コアラボと連携プログラムをローテーションし、「大災害時に救急医療チームを指揮できる臨床医学者」に必要な知識・スキル・人的ネットワーク・コミュニケーション能力を身に付けます。

3年後のプロジェクト終了時には、第1期生を輩出できます。

◎ 災害・救急医学を専門とする優れた臨床医学者を育成 ◎

災害救急医療・高度教育研究センター

三重大学大学院医学系研究科・医学部

コア・ラボラトリー

基礎研究トレーニングコアラボ

細胞障害・多臓器不全の患者の病態の解明と治療法開発

臨床トレーニングコアラボ

細胞障害・多臓器不全の患者の救助と初期治療の訓練

国際連携「分子免疫学」プログラム

ハーバード大学医学部との連携

社会連携「危機管理個人認証」プログラム

地域住民危機管理DNA個人認証

きょう救える患者は、確実にきょう救う。
きょう救えない患者は、あすには救えるように新しい治療法を救急医が研究する。

文部科学省等支援プログラム

平成23～25年度

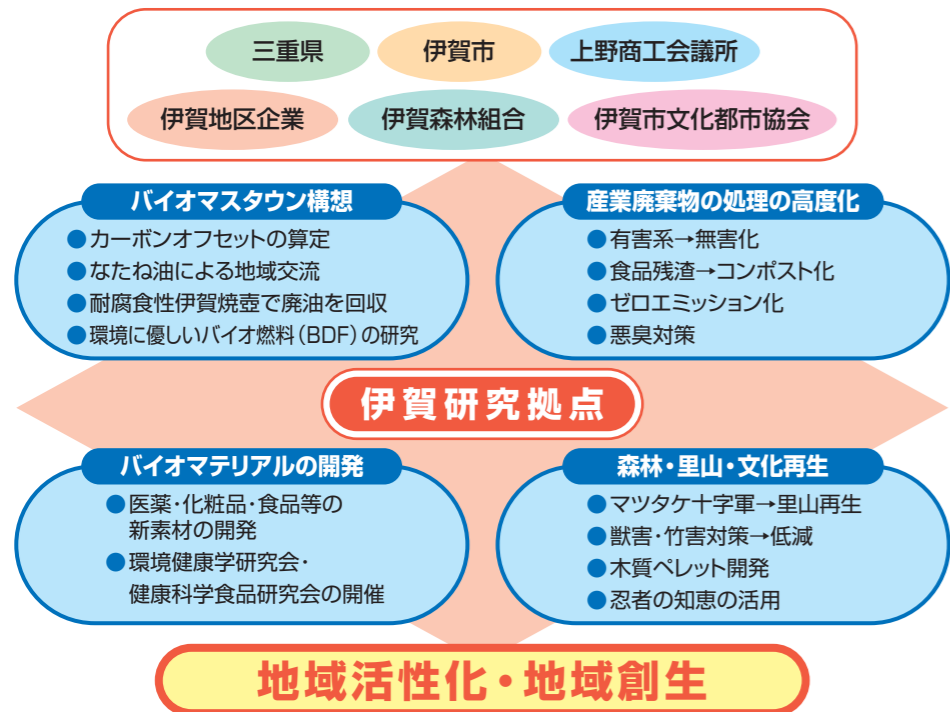
地域の特性を活かした循環型社会構築の高度化

「伊賀地域における 三重大学伊賀研究拠点の 新展開」

伊賀市に設置した研究拠点を中心に、伊賀市ならびに三重県と地域企業等と三重大学の産学官民による地域連携をもって、「環境・食・文化」に関する調査・研究・新商品開発研究等を軸とした新産業育成を図るとともに、伊賀バイオマスタウン構想を通して地域活性化と環境保全を実現します。

また、大学の研究領域の戦略的な活動により、伊賀の産業や豊かな環境・歴史・文化を育む文化的啓発活動を通じた地域活性化、地域企業との連携による大学の研究領域拡大及び大学発信による高度人材輩出（学生の就職機会拡大）を実現する「伊賀地域循環型社会モデル（伊賀モデル）」を構築します。

◎ 地域の特性を活かした循環型社会「伊賀モデル」の構築 ◎



平成23～27年度

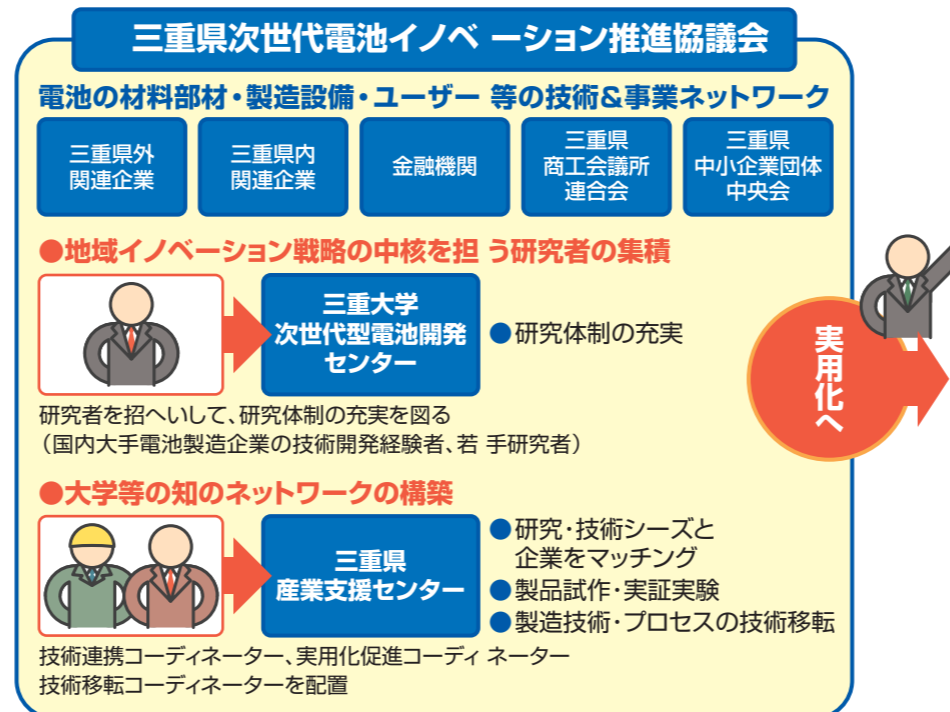
イノベーションシステム整備事業
地域イノベーション戦略支援プログラム

「三重エネルギーイノベーション 創出地域」

これまでの研究開発で生み出された、発火・爆発等の恐れがない高い安全性、薄い・軽い・曲がるというフレキシブルな新規機能性を有する「全個体ポリマーリチウム二次電池」の実用化・事業化を加速し、この電池をコンセプトとした新産業の創出を目的とするものです。

「三重県次世代電池イノベーション推進協議会」を設置し、これまでに構築してきた電池開発に関する産学官連携体制をさらに強化することで、県内外を含めた次世代電池関連の新たな産業構造の確立を目指します。

◎ 産学官連携を強化し「次世代電池」関連の新たな産業構造の確立を推進 ◎



独立行政法人 日本学術振興会

平成22～25年度 先端研究助成基金

「最先端・次世代研究開発支援プログラム」

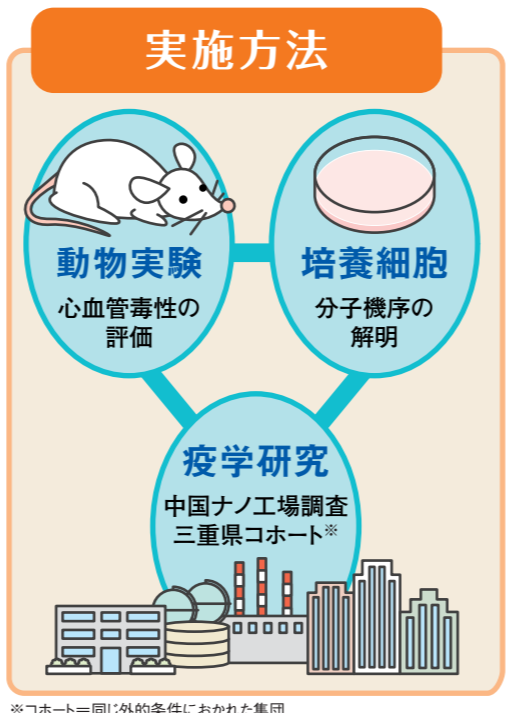
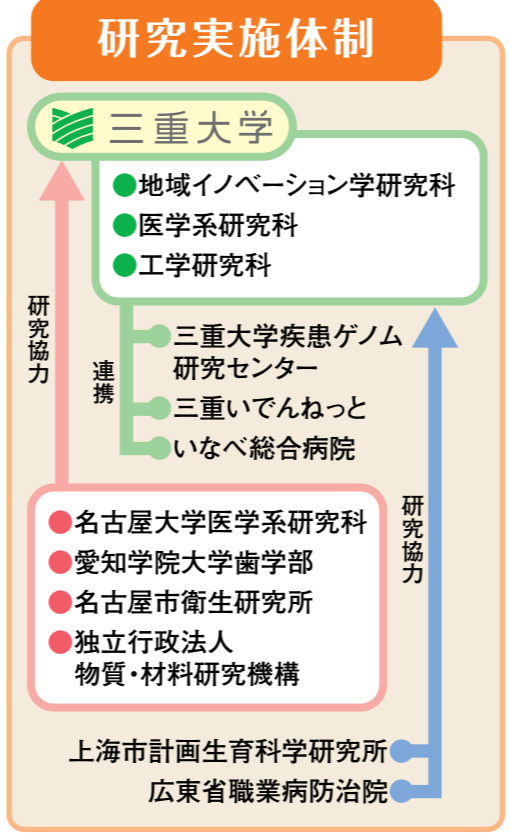
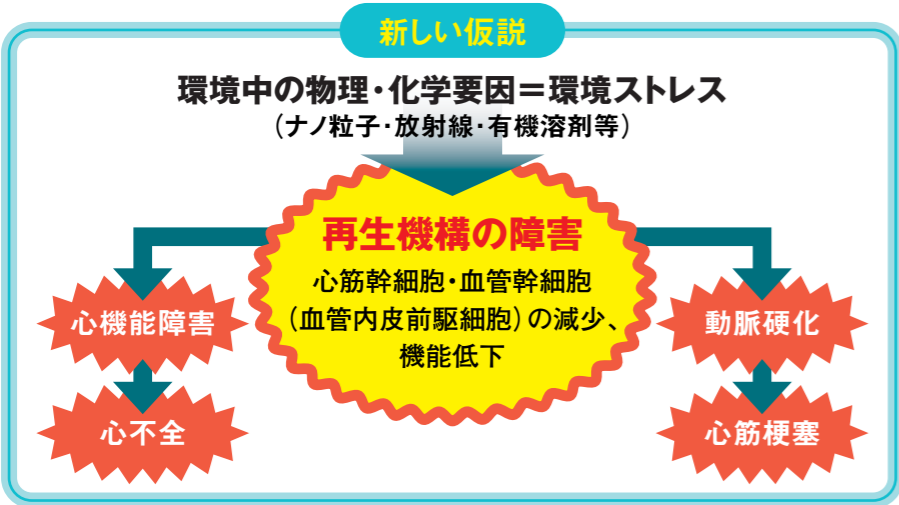
環境ストレスによる心血管系障害に対する予防システムの確立

環境ストレスによる心血管障害のリスク評価 心血管疾患の発症予防・治療法を確立

超高齢社会を迎えたわが国の医学・医療の課題は、「健康な高齢者を増やす」ことです。高齢者のADL (Activities of Daily Living)*を損なう最大の原因は、脳血管を含めた血管系疾患であり、心疾患や血管系疾患に対する有効な予防法や治療薬の開発が急務です。本研究は、環境ストレスによる健康影響に着目し、環境ストレスによる心血管系に対するリスク評価やメカニズムを明らかにして、生活習慣や過労等による循環器疾患の病態解明や発症予防・治療法の確立に寄与し、医療費の削減や元気で活力のある社会の実現に貢献します。

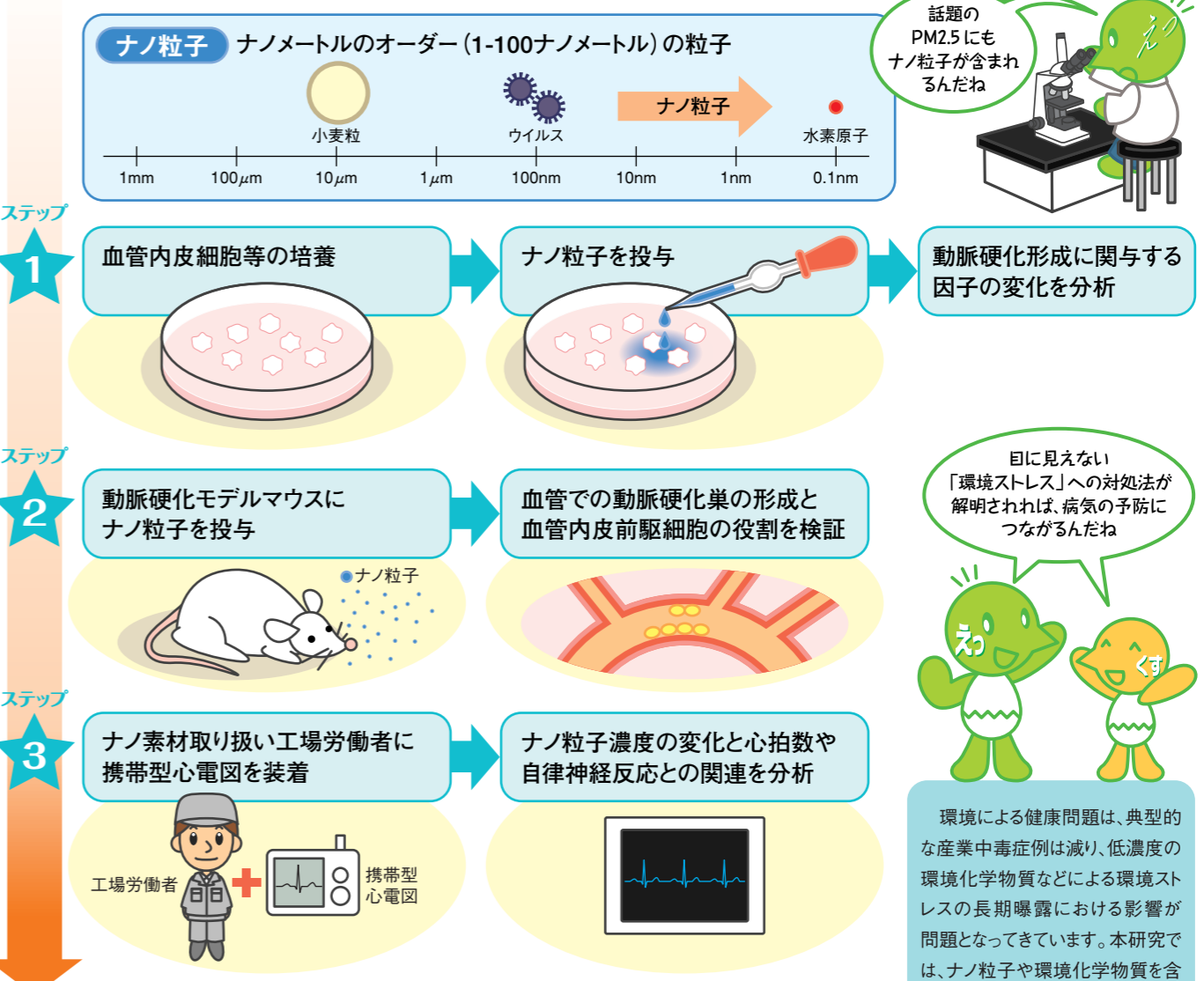
*ADL=日常生活動作

- mission**
- 環境ストレスによる心筋・血管内皮細胞に対する障害の作用メカニズムを解明
 - 心血管系疾患の発症や初期症状の診断に有効なバイオマーカーの確立



*コホート=同じ外的条件におかれた集団

ナノ粒子の血管系に対する影響の評価



- 1 ステップ: 血管内皮細胞等の培養 → ナノ粒子を投与 → 動脈硬化形成に関する因子の変化を分析
 - 2 ステップ: 動脈硬化モデルマウスにナノ粒子を投与 → 血管での動脈硬化巣の形成と血管内皮前駆細胞の役割を検証
 - 3 ステップ: ナノ素材取り扱い工場労働者に携帯型心電図を装着 → ナノ粒子濃度の変化と心拍数や自律神経反応との関連を分析
- ナノ素材の安全性評価**
- 安全安心なナノ素材の開発の発展**
- 環境ストレスのリスク評価を介した疾病予防への貢献**

● 新設

3/26 TUE 学童保育所さくら組

附属病院
旧病棟5階



看板上掲式

三重県の「子育て医師等復帰支援事業」の一環で、女性医師のキャリア支援を目的に開設されました。県内唯一の院内学童保育所です。



● 新設

5/28 TUE 災害救急医療・高度教育研究センター

附属病院
新病棟・診療棟
2階

南海トラフ地震などの大災害時に備えて、救命率向上のために「救急医療を専門とした臨床医学者」を育成する医師卒業後教育・研究拠点としたもので、非常時に救急医療チームでリーダーシップの取れる医師を育てるプログラムを構築していきます。



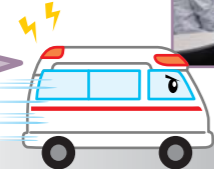
看板上掲式

詳しくは、本誌P10の文部科学省等支援プログラムをご覧ください。



臨床事例研究のひとつ

1人でも多くの命を助けるために…豊富な知識と高度な実践力をそなえた救急のエキスパートを養成します



● リニューアルオープン

4/1 MON 附属図書館

環境・情報科学館
(メープル館) 南側



リニューアル記念式典

自由にディスカッション可能



勉強の合間にリフレッシュ



グループ学習エリア



リフレッシュコーナー

- 閲覧席 740席
- 書架収容数 約97万冊

メープル館と並んで豊かな学習スペースが誕生しました!



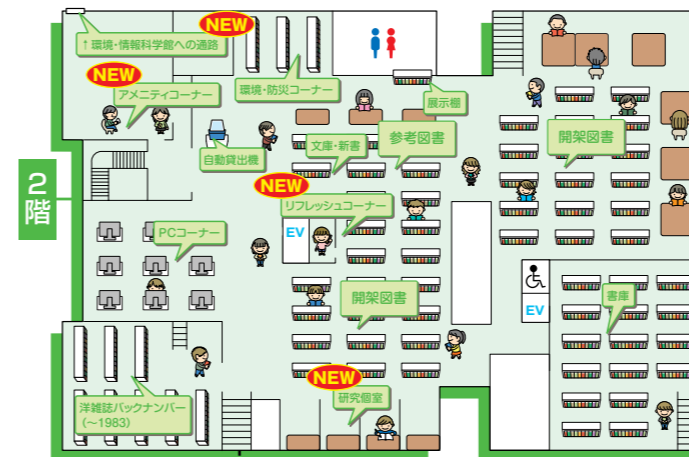
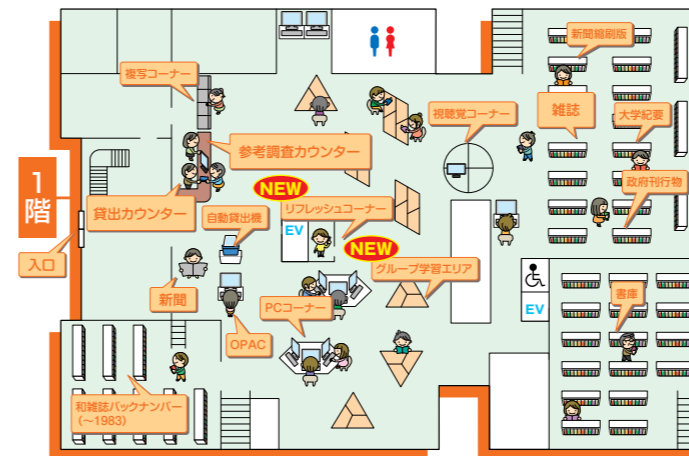
リニューアルのポイント

学習ニーズに対応してフロア毎に工夫をこらしました!

- 1階: Commons エリア (学習空間を柔軟にレイアウトできる空間)
- 2階: Quiet エリア (静かな図書空間)
- 3階: Silent エリア (静寂な学習環境を提供する空間)



附属図書館のマスコットキャラ「ブックロウ」



● リニューアルオープン

2012 11/28 WED 共通教育校舎3号館

環境・情報科学館
(メープル館) 東側



屋上緑化

安全・快適な学習空間



バリアフリー対応のトイレ



4/1 MON スタジオ

附属教育実践
総合センター
2階



学長対談のようす

三重大学をもっと知ってもらう様々な動画を撮影するために、既存のスタジオを整備し、新たに蘇らせました!

三重大学HPでスタジオを活用したいろんな動画をUP中!ぜひ見てね!

HPの動画チャンネルをCheck!





1月

ガスコージェネレーションシステムを設置
「三重大学スマートキャンパス実証事業」の一環として設置され、クリーンな都市ガスを燃料として電気を作り出し、排熱も有効活用されます。



2月

三重県主催の「学生」×「地域」ベストプラクティスコンテストで受賞!

学生グループによる取り組み事例の発表後、三重大学が参加している大学連合「生命のメッセージ展inみえ」実行委員会がオーディエンス大賞、同大学から出場した「学生国際協力団体 Hearts Tree」がオーディエンス賞を受賞しました。



会場のみなさんからの投票で選ばれたんだよ



11日・16日・23日

さきもりジュニア育成講座

県内の高校生を対象に、自分自身や学校の安全を守るための防災計画を考案し、実践・進行管理ができる防災リーダーを育成しました。



13日

TABIPPO2013 ~ガイドブックの向こう側~で最優秀賞を受賞!

応募者450名の中から教育学部の森田松之助さんが最優秀賞を受賞し、世界一周航空券が贈呈されました。



世界一周なんてもスコイね!

18日

三重大学男女共同参画トークセッション「男性の育児参加で女性に輝きを!」開催

鈴木英敬知事とNPO法人ファザーリング・ジャパンの徳倉康之事務局長から自身の育児体験についての講演があり、その後の懇話では内田淳正学長、生物資源学研科内山智裕准教授が夫婦のパートナーシップの重要性についての意見を述べました。



3月

北立誠小学校4年生が第3回環境学習に参加

自分たちの住んでいる地域がどんな場所になったらいいか、またどんなところが好きか自由な発想で楽しく考えてもらい、絵で表現し発表してもらいました。



12日

ミャンマーのヤンゴン第一医科大学学長が来学

学術協力・医師交流に関する協定を締結している標記大学から4名が学長を表敬訪問しました。



4月

天津師範大学留学生へリユース自転車を譲渡

環境ISO学生委員会が回収・整備した自転車をダブルディグリー制度により来学した留学生へ譲渡しました。



11日

第1回三重大学サイエンスカフェを開催

学部、研究分野の枠を超えた研究者の交流を目的に開催され、約50人の参加がありました。



12日

附属病院新病棟12階レストランで第12回オーシャンビューコンサートを開催

ジャズバンドによる演奏が行われ、来場者は伊勢湾の洋々たる遠景を見ながら心地よい時間を過ごしました。



19日

吉田沙保里選手特別講演「オリンピック3連覇を支えたもの」

「たとえ夢がかなわなくても、それまでの努力は無駄にはならない」と夢や目標を持つことの大切さを語り、学生約1,500人も真剣な眼差しで聴き入りました。



22日

第22回地球環境大賞「文部科学大臣賞」を受賞

環境を考慮した多くの取り組みが評価され、秋篠宮同妃両殿下ご臨席の下で授賞式が行われました。



25日

新しい大学ブランド商品を開発中です

タイのチェンマイ大学が栽培したコーヒー豆を使用した「国際交流コーヒー」の試飲会が行われました。



26日

「友好の木イニシアチブ」によるハナミズキ植樹式

日本からワシントンD.C.へ桜を寄贈して100周年を記念し、米国より8本のハナミズキが贈られ、正門前桜庭園へ植樹されました。



5月

特別ワークショップ「伊勢湾・三河湾スナメリ観察クルーズ」

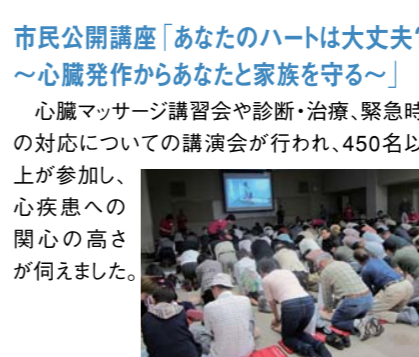
鳥羽水族館のスナメリ飼育50周年を記念して企画され、参加者は野生のスナメリを発見するたびに歓声を上げていました。



11日

市民公開講座「あなたのハートは大丈夫? ~心臓発作からあなたと家族を守る~」

心臓マッサージ講習会や診断・治療、緊急時の対応についての講演会が行われ、450名以上が参加し、心疾患への関心の高さが伺えました。



6月

モンゴルウランバートルで忍者講座開催

一日目は忍者に関する講演が行われ、二日目は子ども達を書いた忍者の絵の展示、手裏剣体験や忍者衣装を着ての記念撮影など、モンゴルの方々にも忍者を通して日本文化を体験してもらい、地元メディアにもとりあげられ好評を博しました。



24日

ミャンマーの看護師が学長表敬訪問

ミャンマーへの医療支援の中から生まれた連携・交流によりネピドー総合病院から2名が来日し、日本の医療についての研修を行いました。



三重大学医学部附属病院 麻酔科医公式ユニフォームを開発

着心地や機能性、耐久性、デザイン性、またスタイル・ファッション性にもこだわった麻酔科医固有のユニフォームができました。



一目で誰が麻酔科医かわかるね



直木賞を受賞された安部龍太郎特任教授から執筆図書を寄贈していただきました



三重のピカ1 鳥羽水族館

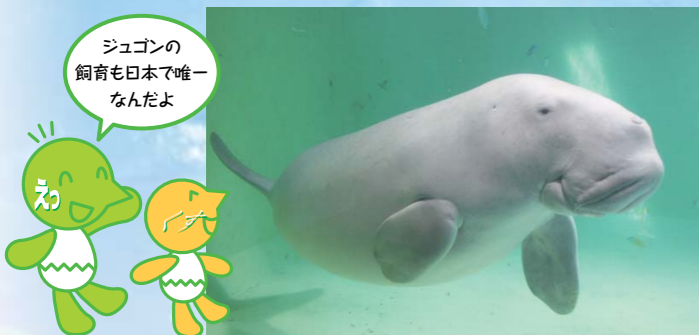
三重県でピカッと輝く企業を紹介します。

ピカ1 飼育種類数

小さいいけすから、飼育種類数日本一の水族館へ!

三重県の観光地として、すっかりおなじみの鳥羽水族館。そんな鳥羽水族館は、飼育種類数日本一というのご存知でしょうか?その種類はなんと約1,200種!たくさんの生きものがある、と直感的に分かってはいても、ここまで多いとは驚きです。

もともとは鳥羽市にある魚の卸問屋が元となった鳥羽水族館。いけすに商品の魚を泳がせているのを観光客が見て楽しんでいたことが始まりです。1955年に50種ほどの水族館として開館し、リニューアルなどを経て種類数も増加。現在では約1,200種30,000点にもものばり、飼育種類数日本一を誇る水族館へと成長しました。



▲ジュゴンのセレナ(メス)

ジュゴンの飼育も日本で唯一なんだよ



さらなる魅力を!

「お客さんに楽しんでもらう工夫を職員全員が考えている」三重大学生物資源学部出身の新人飼育員・遠藤さんは笑顔で話してくれました。「遊び心は大切。そういった部分が鳥羽水族館の魅力になれば」そう語るのは、鳥羽水族館広報の津々木さん。鳥羽水族館の各種イベントは、スタッフの遊び心あるちょっとした一言から生まれることも多いそうです。

7月からは、不思議いっぱい驚きいっぱいの生きもののコーナー「へんな生きもの研究所」がオープンし、鳥羽水族館の魅力はさらに高まりそうです。



▲多種多様な海の生きものたち

「飼育」は努力の積み重ね

生きものの飼育には、こうすればこうなる、といった確たるものがあるわけではありません。1,200種を飼育できているということは、個々の種の飼育ノウハウがしっかりと築かれているということです。それぞれの生きものに合った最善の飼育方法を模索し、試行錯誤し、見つけ出すという、スタッフの方々の努力の積み重ねが、飼育種類数の増加につながりました。1,200種は、ただ「居る」のではなく、全てが「飼育」されているのです。



▲飼育員の遠藤さん



▲広報担当の津々木さん

大好きな水族館を取材することができて本当に楽しかったです!

これからも何度も行きたくなりました! また行きますよ!



向坂 レポーター 岡戸 レポーター

SPOT.....

~多くの生きものたちに出会える巨大水族館。生きものたちの素晴らしさを教えてくれます。~

- 名 称/株式会社 鳥羽水族館
- 所在地/〒517-8517 三重県鳥羽市鳥羽3-3-6
- 代表者/代表取締役 仲野千里
- 事業内容/海や川の生きものの飼育・展示・調査・研究
- 企業理念/生きものを通して“不思議さ”“驚き”“生命の尊さ”に触れ、多くの人々が感動に出会える水族館を目指す。

[URL] <http://www.aquarium.co.jp/>

合気道部

活動は 毎週月曜日・水曜日・金曜日 16:30~
活動場所 / 第一体育館1階柔道場



こんにちは。三重大学合気道部です。私たちは第一体育館1階にある柔道場にて、週3日(月、水、金)合気道の稽古をしています。合気道とは、相手の力を利用し、自分の力として相手を制する武道です。とても難しそうに思われがちですが、なんと部員のほぼ全員が大学生からはじめた人たちばかりなのです!しかも女性の部員も多く、力に自信の無い人でもはじめられます!また、行事としては夏、春と合宿を行い、他大学とのつながりもあります。興味が湧いた方、武道をはじめてみたい方、どんな理由でも構いませんので是非道場に見学にきてください。(^^)



代表 森 健吾 (教育学部情報教育課程 3年)

劇団クレスト

活動は 毎週木曜日 18:00~21:00、土曜日 13:00~18:00
活動場所 / 大集会室、男子合宿所、共通教育3号館など



こんにちは。劇団クレストです!クレストとは鶏のトサカという意味で、トサカのようにトンガってこうという向上心が込められています。劇団クレストは演劇に興味がある人、演劇が好きの人が集まって活動中です。活動内容は発声練習、様々な側面から演技力を鍛えるワークショップ、応用力を鍛える即興劇(エチュード)、公演(新歓公演、秋公演)に向けた練習などがあります。公演では役者だけでなく裏方も大道具、小道具、衣装、音響、照明、宣伝といろんな分野で自分の特技を生かしています。ぜひ公演、もしくは練習にお越しください!



代表 堀 文子 (教育学部学校教育教員養成課程 2年)



『音楽における永遠をめざして—音楽のバトグラフィー2—』

バトグラフィー（病跡学）とは傑出した人物の精神生活と創造活動の関連を精神医学的に研究する学問です。本書ではベートーヴェンやマーラーなどの大作曲家を扱いながら、永遠というキーワードで心理学的にも論じています。

単著／大谷正人(教育学部・教授)
定価／1,600円(税別)
発行／大学教育出版
ISBN／978-4-86429-202-3



『医療アクセスとグローバリゼーション フィリピンの農村地域を事例として』

低所得層は、経済のグローバル化の陰で「医療」市場から排除され健康回復を阻害されているといわれてきた。だが実は、彼らは「医療」市場に組み込まれ生存基盤をいっそう崩壊させられている。「医療」市場における彼らの実態を、フィリピン中山間地域に住む人びとの現実をとらえて描く。

単著／勅使川原香世子
(地域戦略センター・産学官連携研究員)
定価／4,300円(税別)
発行／明石書店
ISBN／978-4-7503-3795-1



『ハゲに悩む—劣等感の社会史』

劣等感はどのように形成されるのか。男性の身体の悩み、とりわけ薄毛をめぐる言説と商品に注目しながら考える。

単著／森 正人(人文学部・准教授)
定価／798円(税込)
発行／筑摩書房
ISBN／978-4-480-06712-8



『市民性を育成する地理授業の開発—「社会的論争問題学習」を視点として—』

市民性を育成する地理教育の学習理論である「社会的論争問題学習」を構築し、「文化摩擦」「環境破壊」「社会格差」の三領域において、学習者の行動の変革を促す小・中・高の発達段階に応じた単元レベルの地理授業を開発した。

単著／永田成文(教育学部・教授)
定価／8,000円(税別)
発行／風間書房
ISBN／978-4-7599-1975-2



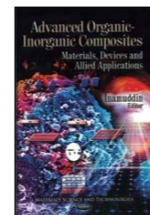
『Gender and Science: Studies across Cultures』

共著／小川眞里子(人文学部・特任教授)
定価／55\$
発行／Cambridge University Press India
ISBN／978-81-7596-925-4



『Photo-Electrochemistry & Photo-Biology for the Sustainability』

共編著／金子 聡(工学研究科・教授)
勝又英之(工学研究科・助教)
定価／5,198円(税込)
発行／ユニオンプレス
ISBN／978-4946428616



『Advanced Organic-Inorganic Composites: Materials, Devices and Allied Applications (Materials Science and Technologies)』

共著／金子 聡(工学研究科・教授)
勝又英之(工学研究科・助教)
定価／215\$
発行／Nova Science Publishers
ISBN／978-1-61324-264-3



『英語で現代中国・アジアを多角的に読む2—The Nikkei Weeklyを活用したプラクティカル・イングリッシュ・トレーニング—』

共著／鈴木幸平(共通教育センター・特任講師)
定価／2,100円(税別)
発行／大学教育出版
ISBN／978-4-86429-185-9



『桑名町人風聞記録I <豊秋雑筆>』

編著／桑名町人風聞記録刊行会
〈代表・塚本 明(人文学部・教授)〉
定価／13,000円(税別)
発行／清文堂
ISBN／978-4-7924-0981-4



『熱エネルギーシステム【第2版】』

編著／加藤征三(名誉教授)
共著／丸山直樹(工学研究科・准教授)
廣田真史(工学研究科・教授)
定価／3,400円(税別)
発行／共立出版
ISBN／978-4-320-08090-4



『図書館情報学』

共著／三根慎二(人文学部・講師)
定価／3,200円(税別)
発行／勁草書房
ISBN／978-4-326-00038-8



『はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ3 スポーツ生理学』

編著／雷榎健二(教育学部・教授)
定価／2,600円(税別)
発行／化学同人
ISBN／978-4-7598-1708-9



『はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ11 健康づくりのための運動の科学』

共著／雷榎健二(教育学部・教授)
定価／2,400円(税別)
発行／化学同人
ISBN／978-4-7598-1710-2



『和泉事典シリーズ28 丹羽文雄文藝事典』

共著／尾西康充(人文学部・教授)
定価／5,000円(税別)
発行／和泉書院
ISBN／978-4-7576-0647-0



『愛知県史 資料編24 近代1 政治・行政1』

共著／田中垂紀子(人文学部・准教授)
定価／5,000円(税別)
発行／愛知県



『知財教育の実践と理論 小・中・高・大での知財教育の展開』

共編著／松岡 守(教育学部・教授)
定価／2,800円(税別)
発行／白桃書房
ISBN／978-4-561-24614-5

平成25年 春の叙勲受章者

瑞宝中綬章(教育研究功勞)

名誉教授(元三重大学人文学部)
水越允治

「瑞宝章」は公共的な業務に長年従事して功勞を積み重ねた人に贈られるんだよ



瑞宝中綬章(教育研究功勞)

名誉教授(元三重大学生物資源学部)
梅林正直

瑞宝小綬章(文部行政事務功勞)

元三重大学事務局長
木下舜春

瑞宝双光章(文部行政事務功勞)

元三重大学施設部長
山口惲雄

瑞宝双光章(保健衛生功勞)

元三重大学医学部附属病院診療放射線技師長
北野外紀雄



『高校倫理からの哲学第1巻 生きるとは』

共著／久間泰賢(人文学部・准教授)
定価／1,500円(税別)
発行／岩波書店
ISBN／978-4-00-028541-4



『高校倫理からの哲学第4巻 自由とは』

共著／久間泰賢(人文学部・准教授)
定価／1,500円(税別)
発行／岩波書店
ISBN／978-4-00-028544-5



『高校倫理からの哲学別巻 災害に向きあう』

共著／久間泰賢(人文学部・准教授)
定価／1,600円(税別)
発行／岩波書店
ISBN／978-4-00-028545-2

三重大学の教員が執筆している本の一部です



附属図書館から

三重大学附属図書館は、三重県図書館情報ネットワーク (MILAI) に参加しています。



MILAIでは、三重大学附属図書館を含む三重県内の40館以上の図書館の本をまとめて検索できます。お探しの本が三重大学附属図書館に所蔵していることがわかれば、お近くの図書館の窓口で取りよせを申し込むことができます。冊数・期間その他の条件については、お近くの図書館にお問い合わせください。
 〈MILAIホームページ〉<http://ufinity02.jp.fujitsu.com/milai/index.php>

附属学校園から

附属中学校

■平成26年度入学希望の方へ

学校説明会を12月初旬に予定しています。入学希望者は必ず説明会に出席していただきますようお願いします。説明会時に入学願書一式を配付します。入学選考等の日程は、11月初旬に本校ホームページにて公表します。

附属特別支援学校

■平成26年度入学希望の方へ

■小学部 / 中学部
■選考日時
 ◎日 時◎ 平成25年11月14日(木)
■願書配付開始日
 ◎日 時◎ 平成25年10月1日(火)
■出願期間
 ◎日 時◎ 平成25年10月22日(火)～11月1日(金) ※土日を除く 9:00～16:00

■高等部
■選考日時
 ◎日 時◎ 平成26年1月16日(木)
■願書配付開始日
 ◎日 時◎ 平成25年10月1日(火)
■出願期間
 ◎日 時◎ 平成25年11月25日(月)～12月6日(金) ※土日を除く 9:00～16:00

※詳細については、お問い合わせください。 ☎059-226-5193



夏季休業

三重大学における夏季一斉休業について

三重大学(医学部附属病院を除く)では、平成25年8月14日(水)～16日(金)を一斉休業させていただきます。ご理解の程よろしくお願ひします。



附属幼稚園

■平成26年度入園希望の方へ

■平成26年度園児募集 募集要項等の交付期間
 ◎日 時◎ 平成25年9月2日(月)～9月20日(金) ※土日、祝日を除く 9:00～12:00、13:00～15:00
■願書受付期間
 ◎日 時◎ 平成25年10月1日(火)～10月11日(金) ※土日を除く 9:00～12:00、13:00～15:00
■入園のための説明会
 ◎日 時◎ 平成25年9月12日(木) 14:00～15:00
■選考面接
 ◎日 時◎ 平成25年10月28日(月)、29日(火)
 ※詳細については、お問い合わせください。 ☎059-227-1711

■緑いっぱいの園庭で遊びませんか?

園庭を開放しています。
 ◎日 時◎ 毎週月曜日と木曜日 13:00～16:30 (10月から月曜日は14:30からになります。)
 ◎その他◎ 事務室受付で名前を記入してから遊んでください。トイレは管理棟、昇降口の所をご利用ください。ゴミはお持ち帰りください。使った玩具等は必ず片づけてください。

附属小学校

■平成26年度入学希望の方へ

■選考日時
 第1次選考 ◎日 時◎ 平成25年11月23日(土)
 第2次選考 ◎日 時◎ 平成25年11月26日(火)
■願書配付期間
 ◎日 時◎ 平成25年9月24日(火)～10月11日(金) ※土日を除く
■出願期間
 ◎日 時◎ 平成25年10月17日(木)～10月31日(木) ※土日を除く 9:00～12:00、13:00～16:00
■学校説明会
 ◎日 時◎ 平成25年10月16日(水) 14:00～15:30
 ◎会 場◎ 附属中学校体育館
 ※詳細については、お問い合わせください。 ☎059-227-1295

学生表彰

※()内は指導教員
 学年は受賞当時

日本鑄造工学会奨励賞 (2013.3.1)



工学研究科(博士前期課程)2年 川谷龍勢
 (矢野賢一 教授)

農業機械学会関西支部第129回例会 学生ベストプレゼンテーション賞 (2013.3.5)



生物資源学研究科(博士前期課程)2年 高田智之
 (王 秀崙 教授)

農業機械学会関西支部第129回例会 学生ベストプレゼンテーション賞 (2013.3.5)



生物資源学部 4年 高橋寛生
 (鬼頭孝治 准教授)

日本産業技術教育学会第7回発明・工夫作品コンテスト 奨励賞 (2013.3.6)



教育学部技術教育コース電気工学研究室
 4年 牛田晃貴 / 4年 高山幸輝
 4年 加藤工貴
 2年 小林万甫子 / 2年 横山直輝
 (松岡 守 教授)

日本機械学会東海支部 第44回学生員卒業研究発表講演会 Best Presentation Award (2013.3.17)



工学部機械工学科 4年 福田好秀
 (稲葉忠司 教授)

SITE2013 (2013.3.28)



教育学研究科(修士課程)1年 宮原菜月
 (須曾野仁志 教授)

WATT SENSE AWARD 2012

「エコ・リーグ賞(熱血活動部門(教職員賞))」

理事(企画・評価・環境)・副学長
 朴 恵淑



2013年3月29日
 朴 恵淑理事・副学長は、環境改善活動に強いリーダーシップを発揮しており、これまでのCO₂・エネルギー削減の実績が評価され、今回の受賞となりました。

平成25年度

科学技術分野文部科学大臣表彰若手科学者賞

工学研究科 准教授
 内海裕洋



2013年4月16日
 「メゾスコピック量子導体における非平衡量子輸送理論の研究」について、その成果が萌芽的かつ独創的であるとして、今回の受賞となりました。

平成25年河川功労者表彰(日本河川協会)

理事(企画・評価・環境)・副学長
 朴 恵淑



2013年5月28日
 東京の砂防会館別館シェーンバッハ・サボアにて表彰式が行われ、日本と韓国の青少年の水環境教育等を通じ、国際協力関係の推進に積極的に取り組んだとして、朴 恵淑理事・副学長が「平成25年河川功労者表彰」を受賞しました。

教員表彰

受賞者	受賞名(受賞日)
教育学部 教授 藤田達生	愛媛出版文化賞第一部門賞 (研究・評論) (2013.1.22)
教育学部 准教授 平山大輔	日本生態学会 Ecological Research Award (Ecological Research 論文賞) (2013.3.8)
学生総合支援センター 助教 鈴木英一郎	日本学生相談学会 奨励賞(実践活動奨励賞) (2013.5.20)
理事(企画・評価・環境)・副学長 朴 恵淑	愛知県環境保全推進功労賞 (2013.6.5)

市民開放授業

■平成25年度後期三重大学市民開放授業 受講生募集のお知らせ

三重大学では、本学が開講している正規の授業を市民等の皆様に学生とともに受講していただく三重大学市民開放授業を開講しております。

募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL <http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html>

○開放授業科目○

- 人文学部 ……ドイツの文学D、ドイツの文学F、中国語作文B、中国語会話B、ドイツの言語D、自然環境論B、日本考古学特講D
- 教育学部 ……メディアリテラシーと情報表現II、現代社会の課題と国民的教養、教育社会学、教育社会学演習、教育と福祉
- 工学部 ……量子力学I、電磁気学II及び演習、量子力学II、人工知能II
- 生物資源学部 ……資源動物学、環境経済学、流域保全学、食料生産システム学、景観設計論、植物病害制御学
- 国際交流センター…基礎I生活日本語1B、基礎II生活日本語2B、中級I文法・読解B、中級II文法・読解B、地域研究：ベトナムB、プロテストソング論
- 共通教育センター…比較政治文化、建築・技術・人間—防災論、日本史IV、ドイツ語I基礎(後)、ドイツ語I演習(後)、ドイツ語II講読、ドイツ語II演習、英語I TOEIC受験対策

○開催日○ 2013年後期の講義期間

○募集定員○ 1科目2名～20名(授業科目により異なります。)

○受講料○ 1科目9,400円(一部の科目13,500円)

○受講資格○ ありません。

ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。

○受講申込受付期間○ 平成25年9月2日(月)～9月9日(月)

○問い合わせ先○ 学務部教務チーム / ☎059-231-5520

または、各学部学務担当等(募集要項参照)

■生物資源学部特別支援プログラム

受講生募集のお知らせ

農学関連特別プログラム・森林関連特別プログラム・水産関連特別プログラムを開講しています。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp/pdf/tokubetu2013.pdf>

○開放授業科目○

- 農学関連特別プログラム…植物遺伝育種学、野菜環境生理学、食用作物学、(後期コース) 昆虫学、植物病原微生物学、生理生態機能調節実習および生物資源有効利用実習(後期コース)
- 森林関連特別プログラム…樹木生理学、森林・緑環境評価学、森林航測学、(後期コース) 治水砂防学、森林・緑環境計画学、森林資源生物学実験
- 水産関連特別プログラム…海事概論、水産食品衛生学、海洋個体群動態学、(後期コース) 水族増殖生態学、資源生物学、海洋動物学実験

○開催日○ 2013年後期の講義期間

○募集定員○ 各プログラム若干名

○受講料○ 入学検定料：9,800円

入学料：28,200円

授業料：1科目9,400円、後期コース56,400円

○受講資格○ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認めた者。

○受講申込受付期間○ 平成25年7月29日(月)～8月2日(金)

○問い合わせ先○ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9735

公開講座・シンポジウムなど

■人文学部 伊賀連携フィールド2013年度 「忍者・忍術学講座：忍術書を読み解く」

○会場○ ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所 コミュニティ情報プラザホール

○受講料・定員○ 無料・自由参加 ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 人文学部チーム総務担当 / ☎059-231-9194

E-mail : hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

■義盛百首の世界

○講師○ 本廣陽子(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年7月20日(土) 10:30～12:00

■忍術と妖術

○講師○ 吉丸雄哉(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年8月17日(土) 10:30～12:00

■忍術に見る修験道の影響

○講師○ 山田雄司(人文学部・教授)

○日時○ 平成25年9月21日(土) 10:30～12:00

■? 「発見塾」

○受講料・定員○ 無料・自由参加 ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 三重大学附属図書館 / ☎059-231-9032

URL <http://www.lib.mie-u.ac.jp>

■これであなたも蝶博士

○講師○ 宮崎照雄(名誉教授)

○日時○ 平成25年7月27日(土) 13:30～15:00

○会場○ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■千歳山・半泥子ワールドへようこそ

○講師○ 菅原洋一(工学部・教授)

○日時○ 平成25年9月28日(土) 13:30～15:00

○会場○ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■ハゲはなぜ悩ましいのか 一劣等感の社会史—

○講師○ 森 正人(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年11月30日(土) 13:30～15:00

○会場○ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■高血圧を予防・治療して、延ばそう健康寿命

○講師○ 伊藤正明(医学部附属病院・教授)

○日時○ 平成26年1月25日(土) 13:30～15:00

○会場○ 津市芸濃総合庁舎2階 芸濃コミュニティセンター

■健康寿命を延ばすための食生活とは?

○講師○ 矢野 裕(医学部・准教授)

○日時○ 平成26年3月22日(土) 13:30～15:00

○会場○ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■生物資源学部「公開講座」

親子(孫)で120%科学を楽しむ仮説実験講座

『銀ピカ・金ピカのひ・み・つ』

○講師○ 木村妙子(生物資源学部・准教授)

○日時○ 8月10日(土)、11日(日)の2日間10:00～15:00

○会場○ 三重大学生物資源学部

○受講料・定員○ 1家族5,500円(実験BOX含む)・60名

○受講対象者○ 小学生～大人

○申込期間○ ～7/19(金)(定員になり次第締切)

○申込方法○ E-mailまたはFAX(振込は申込受付後)

○問い合わせ先○ 生物資源学研究科チーム総務担当

☎059-231-9673 / FAX 059-231-9634

E-mail : bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

■第16回「リフレッシュ理科教室」

「磁石でまわる!はねる!とぶ!楽しい工作」

○講師○ 竹尾 隆(工学部・教授)、三宅秀人(工学部・准教授)、佐藤英樹(工学部・准教授)、松井龍之介(工学部・准教授)、藤原裕司(工学部・准教授)

○日時○ 平成25年8月24日(土)
1回目 10:00～11:30、2回目 13:00～14:30、3回目 15:00～16:30

○会場○ 三重大学講堂小ホール

○受講料・定員○ 無料・各回60名 ○受講対象者○ 小学3年生～中学生

○申込方法○ E-mailまたはホームページ ○申込期間○ 平成25年7月1日(月)～8月1日(木)

○申込み・問い合わせ先○ 藤原裕司(工学部・准教授)

E-mail : refresh@ne.phen.mie-u.ac.jp

URL <http://www.ne.phen.mie-u.ac.jp/user/RefreshRika/>

■人文学部創立30周年記念行事

○受講料○ 無料

■国際忍者学会「「忍者」から見た日本と中国—交流の歴史と未来」

○日時○ 平成25年9月6日(金)、7(土) / 1日目13:00～17:00、2日目10:00～15:00

○会場○ ハイトピア伊賀3階コミュニティホール ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 人文学部チーム総務担当(伊賀連携フィールド担当) 森本真行

☎059-231-9194

■三重大学人文学部伊勢湾・熊野地域研究センター、久留倍官衙遺跡を考える会講演会「久留倍遺跡の立体復元～各地の遺跡復元から～」

○日時○ 平成25年10月26日(土) 13:00～17:00

○会場○ 四日市市あさけプラザ ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 人文学部 山中 章 / E-mail : yaa@human.mie-u.ac.jp

■地域とつながる・地域を発信する一地域・卒業生と考える人文学部の役割

○日時○ 平成25年11月30日(土) 13:00～18:30

○会場○ 三重大学講堂、人文学部校舎 ○受講対象者○ 市民一般、卒業生、在学生

○問い合わせ先○ 人文学部チーム総務担当 森本真行 / ☎059-231-9194

■平田オリザ講演会

○日時○ 平成25年12月4日(水) 時間未定

○会場○ 三重大学講堂 ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 人文学部 田中綾乃 / E-mail : sophy-tana@human.mie-u.ac.jp

■人文学部「公開ゼミ」

○会場○ 三重大学人文学部

○受講料・定員○ 無料・各20名 ○受講対象者○ 市民一般

○申込方法○ 電話、FAX、メール

○申込期間○ 8月初旬～各開講日の5日前まで(定員まで先着順に受け付けます。)

○申込み・問い合わせ先○ 人文学部チーム総務担当

☎059-231-9196、059-231-9195 / FAX 059-231-9198

E-mail : hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

URL <http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiki/kouza/>

①『宝島』入門

○講師○ 赤岩 隆(人文学部・教授)

○日時○ 平成25年9月10日(火)、17日(火)、24日(火) 10:30～12:00

②日本の社会保障を考える ～医療、介護を中心に～

○講師○ 和田康紀(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年9月11日(水)、18日(水)、25日(水) 19:00～20:30

③ことばの意味とコミュニケーション

○講師○ 澤田 治(人文学部・准教授)、吉田悦子(人文学部・教授)

○日時○ 平成25年10月1日(火)、8日(火)、15日(火) 10:30～12:00

④英文法を科学する!?

○講師○ 杉崎敏司(人文学部・教授)

○日時○ 平成25年10月1日(火)、8日(火)、15日(火) 16:20～17:50

⑤フェニキア都市からローマ都市へ ～地中海沿岸部に展開した古代都市文明を探る～

○講師○ 山中 章(人文学部・特任教授)

○日時○ 平成25年10月23日(水)、30日(水)、11月6日(水) 14:40～16:10

⑥敬待について考える

○講師○ 石井真夫(人文学部・特任教授)、立川陽仁(人文学部・准教授)、北川真也(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年11月5日(火)、12日(火)、19日(火) 19:00～20:30

⑦文化の違いとコミュニケーション

○講師○ 藤本久司(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年11月22日(金)、29日(金)、12月6日(金) 13:00～14:30

⑧災害時の国、自治体、住民・ボランティアの役割と法

○講師○ 前田定孝(人文学部・准教授)

○日時○ 平成25年11月25日(月)、12月2日(月)、12月9日(月) 19:00～20:30

■医学部「公開講座」

「同じ地域住民として外国人との共生を」、他

○講師○ 畑下博世(医学部・教授) 他

○日時○ 平成25年10月開催予定 ○会場○ 医学部先端医科学教育研究棟

○受講料・定員○ 無料・100名 ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 医学系研究科チーム総務グループ / ☎059-231-5428

E-mail : med-soumu@mo.medic.mie-u.ac.jp

URL <http://www.medic.mie-u.ac.jp/event/opensemi.php>

※全3講座を予定。詳細は8月下旬頃に上記URLに掲載予定です。

■第6回 久留倍官衙遺跡講演会

○日時○ 10月26日(土) 13:00～17:00

○会場○ あさけプラザ(四日市市富田)

○受講料・定員○ 無料・300名 ○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 人文学部 山中 章 / ☎059-231-9148

E-mail : yaa1948@gmail.com

①久留倍官衙遺跡の立体復元

○講師○ 箱崎和久(奈良文化財研究所・遺構研究室長)

②鈴鹿関のCG復元

○講師○ 関口敦仁(愛知県立芸術大学・教授)

③長岡京のCG復元

○講師○ 河角龍典(立命館大学・准教授)

④海外遺跡復元事情

○講師○ 山中 章(人文学部・特任教授)

■壬申の乱ウォーク

○講師○ 山中 章(人文学部・特任教授)

○受講対象者○ 市民一般

○問い合わせ先○ 人文学部 山中 章 / ☎059-231-9148

E-mail : yaa1948@gmail.com

①第30回 大友皇子自害の地山崎を歩く

○日時○ 11月9日(土) 8:00～17:00 近鉄四日市駅前(市立博物館前)集合

○会場○ 京都府乙訓郡大山崎町周辺

○受講料・定員○ バス代4000円・100名

○申込方法○ 電話、メール

②第31回 聖武天皇行幸地・河口頓宮を訪ねて

○日時○ 平成26年2月8日(土) 9:00～13:00 近鉄榊原温泉口集合

○会場○ 津市周辺

○受講料・定員○ 無料・自由参加

■青少年のための科学の祭典2013 三重大学大会

○日時○ 平成25年11月16日(土)、17日(日)

1日目13:00～17:00 2日目10:00～16:00

○出展者○ 三重大学教員・学生、中学校・高校教員、科学ボランティア 他

○会場○ 三重大学講堂

○受講料・定員○ 無料・自由参加 ○受講対象者○ 児童・保護者、市民一般

○問い合わせ先○ 教育学部 後藤太一郎 / ☎059-231-9260

URL <http://sci.edu.mie-u.ac.jp>

大和街道 関ヶ原 伊賀上野



▶ 関宿西の追分道標



▶ 関西鉄道架道橋



▶ 関西鉄道立坑跡

東海道関宿の西の追分には、「南無妙法蓮華經 ひとりいかに」と刻まれた大きな道標があります。そこから加太峠を越えて伊賀に至り奈良に通ずる道は「加太越奈良道」あるいは「大和街道」と言われ、古くから主要な街道でした。現在、その街道の大半は一般国道25号となっていますが、関ヶ原伊賀上野間は平行して名阪国道があり、特に加太峠付近の国道の通行は数少ない状況です。

また、明治二十三年(一九〇〇)には関西鉄道会社の四日市〜柘植間が大和街道と交錯して敷設されました。同社は県内最初の鉄道会社で、のち国有化されて今はJR線ですが、街道に沿って当時の鉄道技術が物語る遺構が見られます。一つは加太板屋地区の架道橋で、急峻な山岳地帯を通過するため長大な堤が築かれ、大和街道とはアーチ型の架道橋で交差しています。さらに、大和街道からは少しはずれて伊賀市柘植町の大杣池の南約一〇〇メートルの山中には高さ約四メートルのレンガ積み構造物が残っています。加太トンネル掘削の立坑跡を完成後トンネルの排煙施設として利用した珍しいものなのです。

なお、それ以外に大和街道のこれまでの調査で報告されていない亀山・伊賀市境界近くの文化六年(一八〇九)の「三界万霊」の碑と嘉永七年(一八五四)六月十五日の「伊賀地震」での死者五九五人の霊を供養した「法華経塔」の写真を掲載しました。この「法華経塔」は元来大和街道が服部川を渡った南岸に建てられていましたが、伊賀市の「くれば水辺公園」整備に伴って発掘調査をした後、公園内に移設されています。

三重大学附属図書館 研究開発室客員教授 吉村 利男



▶ 伊賀地震供養塔



▲「三界万霊」碑



お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください。(FAX・E-mailでもOKです)。

ご郵送先・お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/>

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて...

三重大学オリジナル「えっくすくんわくわくシャーペン」をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名)
*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



広報室から

■テレビ番組「きらめく群像～三重大学の財(たから)」を放送中!!

毎月、三重テレビ第1チャンネル071で三重大学のテレビ番組「きらめく群像～三重大学の財(たから)」を放送しています。教育・研究・医療・地域貢献などさまざまな分野に全力で取り組む三重大学の「今」を紹介します。



三重大学のテレビ番組だよ!

MTU
三重テレビ放送
第1チャンネル(071)

今後の放送日(予定)

時間はいずれも12:00~12:29

2013年	2014年
8月7日(水)	1月28日(火)
8月27日(火)	2月19日(水)
9月25日(水)	3月26日(水)
10月22日(火)	
11月26日(火)	
12月24日(火)	

看護師・助産師 募集



医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

【お問い合わせは】
三重大学医学部附属病院看護部
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

FM三重で放送中!!

■学生の企画するFMラジオ番組～

「Campus CUBE」
毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!

パーソナリティー募集!

対象は三重大生です!
ぜひご応募ください!



★応募先★
三重大学企画総務部総務チーム 広報室
TEL 059-231-9789

ミツチル

カイ君

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

本誌お問い合わせ先

三重大 X[えっくす] vol.30

平成25年7月15日発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp

◎禁断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

MIE UNIVERSITY Open Campus

三重大学 2013 オープンキャンパス

8.7
WED

人文学部
生物資源学部

8.8
THU

教育学部
医学部医学科
医学部看護学科
工学部

* 内容 *

学部紹介
体験授業
研究室見学
学生による紹介
なんでも相談コーナー
保護者向け企画

「生きる力」
「感じる力」
「考える力」
「コミュニケーション力」

「4つの力」で
世界に伸びよう

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
三重大学学務部入試チーム
TEL 059-231-9063 / FAX 059-231-5382

URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

三重大学オープンキャンパス2013

click!

検索



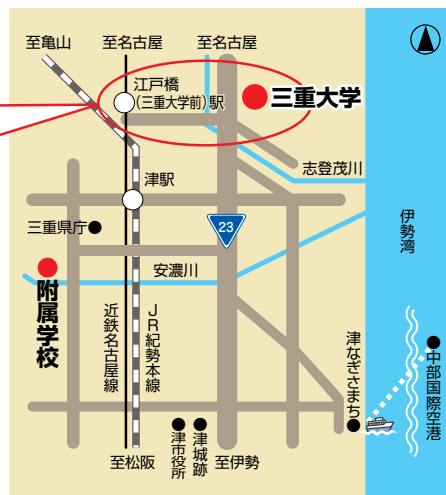
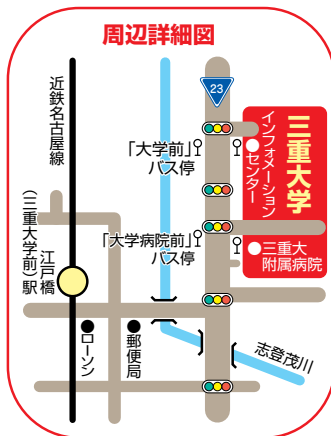
予告

入試説明会開催予定

【三重大学 環境・情報科学館 / 9月28日(土)】

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

